

平成21年6月26日

700系の加速度向上について

これまで700系新幹線車両では、東海道区間において発車時などの加速度を毎秒1.6km/h（1.6km/h/s）に設定して運行しておりました。

当社では、平成18年3月の新ATC導入に伴い、700系の加速度を毎秒2.0km/h（2.0km/h/s）に向上させることが可能となったことから、車両の改良を昨年10月より進め、このたび、改良工事が完了しましたのでお知らせします。

これにより、ダイヤの設定が柔軟にできるようになるほか、列車遅延時の回復力が向上するなど、安定輸送が一層確保できるようになります。

1. 改良内容

700系、923形の加速度を2.0km/h/sにする

※923形…700系をベースにした試験車両（ドクターイエロー）

○改良による加速度の比較

	改良前	改良後
700系、923形	1.6km/h/s	2.0km/h/s

（参考）他の車両の加速度

N700系	2.6km/h/s
300系	1.6km/h/s

2. 対象編成

700系 : 60編成（全編成）

923形（電気・軌道総合試験車）: 1編成

計61編成

3. 改良時期

平成20年10月～平成21年6月

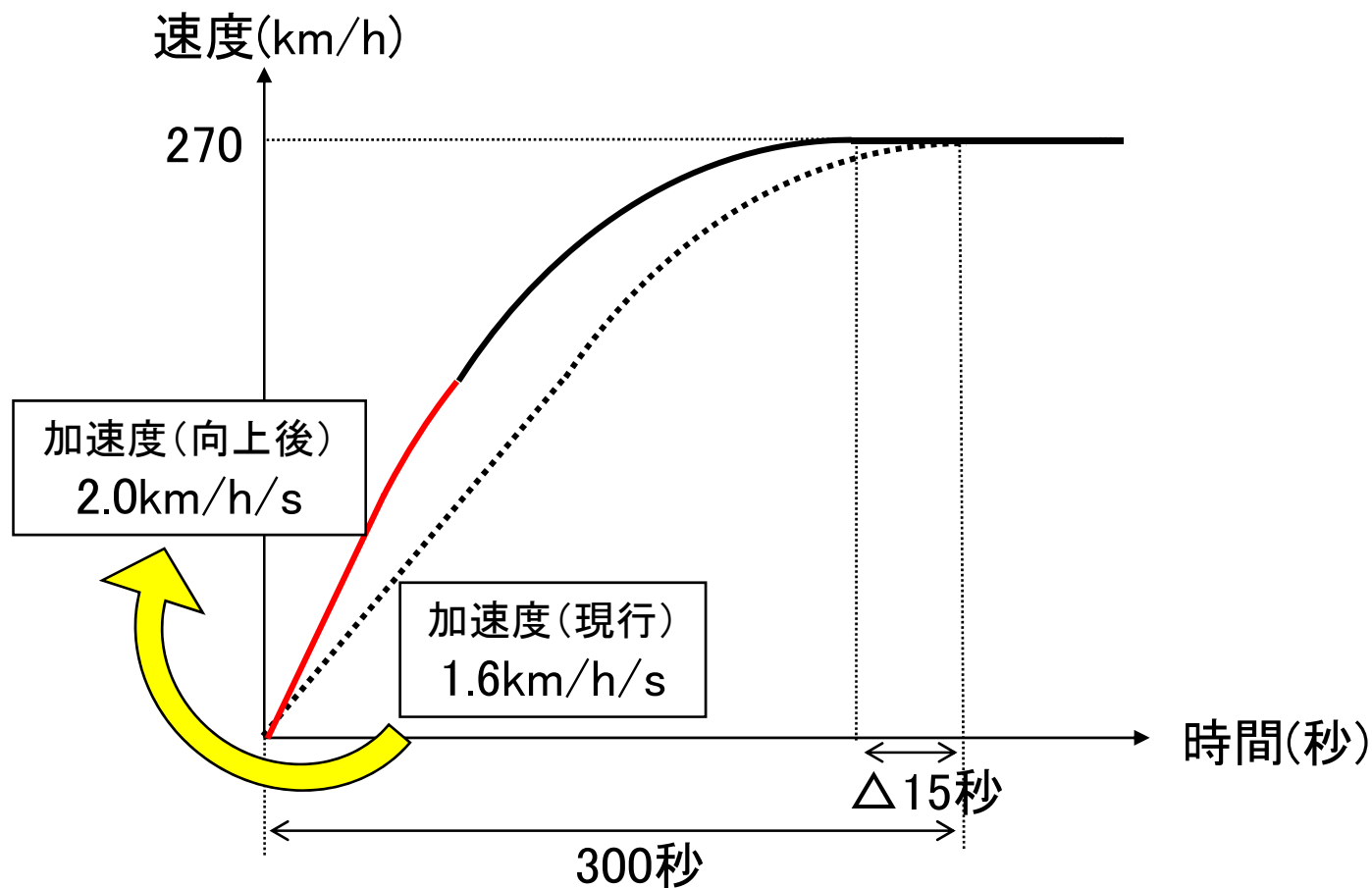
4. 工事費額

約2億円

別紙

(参考) 700系新幹線車両の加速度向上

0km/hから270km/hまでの速度を
比較したグラフ



起動時や低速域での加速度向上により、
270km/hまでの到達時間が約15秒短縮